

TBS「日本沈没 希望のひと」のロケ顛末



ロケが行われた「金沢文庫パークハウス3番館」

昨年の11月下旬から2021年4月に掛けて、私が住んでいるマンションで行われた TBS 日曜劇場の「日本沈没 希望のひと」のロケ風景について書いてみました。

2020年11月下旬の午後に管理人さんからTBSドラマのロケについて関係者の方が理事長を訪ねてきている旨の電話がありました。会って見ると来年の10月から放映予定のドラマのロケにこのマンションを利用させてほしいという事でした。その場では次回の理事会で承認を得ないと、ロケに使用する事を許可することは出来ないと説明しました。12月19日の理事会で理事全員の承認を得たので、ロケの担当者へロケでマンションを利用する事が承認された事を連絡した。この判断がこれからこのロケに振り回される私のドラマの始まりとなりました。(この段階ではロケを行うという話しは本当なのかどうなのかちょっと不安でした。)

2021年1月19日の午後、ロケの担当者と一回目の打ち合わせをコロナ禍であることでマンションの中庭で行った。その場で「日本沈没 希望のひと」の主役の小栗旬の公務員住宅として一階の部屋を利用する予定であると説明を受けた。1月19日の夕刻にロケ担当者及び監督以下10名程が下見と打ち合わせに訪れました。



ロケ隊との打ち合わせ風景

まず、一階の部屋が公務員住宅に決まり、住人の方へ了承を得に伺って了承を頂いた。

ロケは3回を予定しているようで、一回目のロケを1月25日12:00から行う事が決定したので、1月23日の理事会で理事全員の承認を得た旨、ロケ担当者に通知。(直前で1月27日に変更。マンション内の調整が大変でした。)そのロケの内容はスチール写真撮影とドラマの1シーンの撮影だということでした。

1月27日のロケ当日、午前中にロケ隊が続々来所(ロケバス2台、2トントラック2台、ハイエース3台、乗用車4台(俳優さんの車を含む))マンション内に駐車スペースの確保にてんやわんやでした。



ロケ隊の車両の風景 (奥に後10台駐車)

午前中にスチール写真の為、比嘉愛未さんと子役の宝辺花帆美ちゃんが来所、スチール写真撮影後、比嘉愛未さんのみ別の撮影場所へ移動。ドラマ撮影スケジュールに合わせ、小栗旬さんが来所。午前から美術の方が行っていた小栗旬さんの公務員住宅として使用する部屋の玄関先及び郵便受け等を今回の小栗旬さんの役の「天海啓示」へ全ての変更作業も終了し、撮影の準備は終了した。撮影はマンションの中庭で小栗旬さんと宝辺花帆美ちゃんが演じる天海親子の再会の場面で二人の立ち位置の確認に始まり、監督との打ち合わせ、そしてリハーサルと進み本番の撮影で終了しましたが、この時のリハーサルは中々監督のOKが貰えず10回以上繰り返されました。その間、子役の宝辺花帆美ちゃんの頑張りに、子役といえども役者さんは凄いな〜と感心しました。この日は、二人が帰った後、中庭のマンション風景及び天海家の玄関の撮影を行い、撮影は終了した。

2回目の撮影は2月21日に行いたいとロケ担当者から依頼が来たので、理事全員の了承を得てロケを行う事が決定した。(今回は日程の変更は無く、スムーズに撮影当日を迎えた。)

2月21日のロケ当日、17時頃からロケ隊が続々と来所。役者さんは小栗旬さんと杏さんで、マンション中庭を中心とした二人のやり取りのシーンの撮影です。今回も監督のOKが出るまで何回もリハーサルを行っていました。撮影は妥協を許さない役者と監督の本気の勝負だと感心しまし

た。二人の撮影が終了した後は、夜間のマンション中庭の風景を撮影して撮影は無事終了しました。



スタッフの打ち合わせ風景（左から2番目が監督）

この日のトピックスとして些細な事ですが、小栗旬さんとすれ違う事があったのですが、すれ違う時に小栗旬さんから私に「ご協力有難うございます。」と言葉を掛けて貰いちょっと感激しました。3回目の撮影は撮影予定日がコロナの影響で中止になったり、やっと決まった予定日が何回も変更になったりで、その都度、理事の方に報告し了承を得たり、マンションの住人に撮影中止や日程が変更された都度、案内ビラを配ったりで大変でした。結果、4月9日に撮影日が最終決定され、今回の撮影が最後の撮影という事でした。



美術さんにより公務員住宅に変身

4月9日の撮影当日ですが、2回目と同じ、小栗旬さんと杏さんのやり取りのシーン撮影でした。役者さんを押さえている日にちが僅かしかないという事で今回は2時間くらいで撮影は終了しました。



監督が坐って役者に指示を出しているモニター



撮影風景

撮影終了

撮影終了後、ロケ隊及び役者さんは慌ただしく、TBSの緑山スタジオに向かって移動して行きました。

昨年の11月から約半年、TBS側で予定していた撮影が無事に終了した事でほっとしました。今夏の撮影の感想として思ったのは「2度とこんな役回りはやりたくないな〜」という思いが湧いてきたと同時に普通は出来ない体験が出来た事に対する充実感も有りました。最後にTBSの担当者からまたこのマンションを利用する機会があった場合はよろしくと声を掛けられ、今度は背筋がぞっとしました。

この記事を書いている時は、「日本沈没 希望のひと」第6話が終了した段階でした。1回目と2回目の撮影場面は放映されましたが、まだ、3回目のシーンは放映されていません。興味がある方は毎週日曜日の午後9時からのTBS「日曜劇場」でご覧いただけたら幸いです。

心残りとしては、俳優さんの撮影が禁止された事が「ただただ残念」でした。(2021.12.15 掲載)